



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成27年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 エコナックホールディングス株式会社
 コード番号 3521 URL <http://www.econach.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 奥村英夫
 (氏名) 加藤祐蔵

TEL 03-6418-4391

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	620	△5.8	0	△94.6	8	—	50	—
26年3月期第3四半期	658	△12.1	8	△87.1	△3	—	△18	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 72百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	0.61	0.61
26年3月期第3四半期	△0.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
27年3月期第3四半期	6,650	—	4,155	—	59.0	45.95
26年3月期	5,490	—	3,824	—	65.0	45.58

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 3,925百万円 26年3月期 3,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	850	△1.1	7	—	14	—	3	—	0.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) - 、 除外 一社 (社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	85,457,466 株	26年3月期	78,317,466 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	32,032 株	26年3月期	32,032 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	83,244,488 株	26年3月期3Q	78,285,434 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税後の個人消費に弱さが見られたものの、全体としては緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、不動産事業では、東京都港区西麻布のテナントビルの安定した賃料収入を得ることができました。また、同ビルの賃貸住宅部分の新規入居者数は、想定を上回るペースで推移しました。しかしながら、温浴施設建設のため東京都新宿区歌舞伎町の駐車場運営を平成25年9月下旬に終了したことなどにより、売上高は前年同四半期に比べ1.2%減少し1億3千3百万円、営業利益は前年同四半期に比べ11.0%減少し8千6百万円となりました。

繊維事業では、第1四半期は盛夏物の刺繍レースの受注を多く得ることができましたが、平成26年8月以降、秋冬物の受注や大手ブランド向けの受注が前年を下回ったことなどにより、売上高は前年同四半期に比べ20.2%減少し4千9百万円、営業利益は前年同四半期に比べ51.9%減少し3百万円となりました。

化粧品事業では、特にオールインワン美容液やホテル向けアメニティ商品の受注が好調であり、売上高は前年同四半期に比べ0.1%増加し1億8千6百万円となりました。また、採算性の重視及び経費削減に努めた結果、営業利益は1千万円（前年同四半期は営業利益0.8百万円）となりました。

ゴルフ場事業では、伊豆スカイラインカントリー倶楽部にてゴルフ場運営を行っております。天候不順により来場者数が伸び悩んだこと、新規会員の入会者数が前年を下回ったことなどにより、売上高は前年同四半期に比べ8.8%減少し2億4千9百万円、営業利益は前年同四半期に比べ47.7%減少し1千8百万円となりました。

なお、各事業に帰属しない一般管理費等1億1千5百万円を全社費用に、受取保険金2千万円を営業外収益に、負ののれん発生益1千9百万円及び預託金償還益4千5百万円を特別利益にそれぞれ計上しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6億2千万円（前年同四半期比5.8%減）、営業利益は0.4百万円（前年同四半期比94.6%減）、経常利益8百万円（前年同四半期は経常損失3百万円）、四半期純利益5千万円（前年同四半期は四半期純損失1千8百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、建設仮勘定の増加などにより前連結会計年度末と比較して11億6千万円増加し、66億5千万円となりました。負債は、短期借入金や未払金の増加などにより前連結会計年度末と比較して8億2千9百万円増加し、24億9千5百万円となりました。純資産は、資本金の増加などにより前連結会計年度末と比較して3億3千1百万円増加し、41億5千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期連結業績予想につきましては、様々な要因を考慮し、平成26年5月15日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,117,442	1,158,810
受取手形及び売掛金	120,804	114,251
商品及び製品	8,057	11,630
仕掛品	2,902	1,873
原材料及び貯蔵品	37,025	36,226
販売用不動産	307,021	310,420
短期貸付金	31,572	30,591
その他	18,352	16,571
貸倒引当金	△2,793	△2,548
流動資産合計	1,640,386	1,677,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	353,770	321,811
機械装置及び運搬具(純額)	48,379	42,165
工具、器具及び備品(純額)	22,249	17,404
コース勘定	362,224	362,224
土地	2,277,975	2,277,975
建設仮勘定	527,010	1,696,590
有形固定資産合計	3,591,609	4,718,173
無形固定資産		
のれん	7,021	3,510
借地権	83,445	83,445
電話加入権	2,086	2,086
ソフトウェア	418	697
無形固定資産合計	92,972	89,740
投資その他の資産		
投資有価証券	600	600
その他	176,853	177,385
貸倒引当金	△11,816	△12,844
投資その他の資産合計	165,637	165,141
固定資産合計	3,850,219	4,973,055
資産合計	5,490,605	6,650,884

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,840	20,264
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	83,568	483,568
未払法人税等	5,783	4,215
未払金	29,486	589,738
その他	50,906	64,435
流動負債合計	193,583	1,562,221
固定負債		
長期借入金	978,414	517,408
資産除去債務	2,853	2,902
再評価に係る繰延税金負債	45,847	45,847
長期預り金	396,326	326,551
その他	49,537	40,736
固定負債合計	1,472,978	933,445
負債合計	1,666,562	2,495,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,374,765	3,527,811
資本剰余金	149,940	244,825
利益剰余金	△36,997	71,950
自己株式	△2,076	△2,076
株主資本合計	3,485,630	3,842,511
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	82,792	82,792
その他の包括利益累計額合計	82,792	82,792
新株予約権	6,211	—
少数株主持分	249,408	229,913
純資産合計	3,824,043	4,155,217
負債純資産合計	5,490,605	6,650,884

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	658,647	620,441
売上原価	415,394	397,012
売上総利益	243,252	223,429
販売費及び一般管理費	234,324	222,946
営業利益	8,928	482
営業外収益		
受取利息	4,001	3,633
受取配当金	9	9
受取保険料	—	20,000
その他	21,020	6,875
営業外収益合計	25,031	30,518
営業外費用		
支払利息	10,492	18,749
減価償却費	1,029	956
支払手数料	19,047	—
その他	7,384	2,409
営業外費用合計	37,953	22,114
経常利益又は経常損失(△)	△3,993	8,886
特別利益		
負ののれん発生益	540	19,894
預託金償還益	—	45,382
債務免除益	2,000	—
特別利益合計	2,540	65,276
特別損失		
固定資産除却損	0	192
事務所移転費用	168	—
減損損失	1,260	—
特別損失合計	1,428	192
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,881	73,970
法人税、住民税及び事業税	1,686	1,924
法人税等調整額	△467	△17
法人税等合計	1,218	1,906
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,099	72,064
少数株主利益	14,801	21,275
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,900	50,788

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△4,099	72,064
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	△4,099	72,064
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,900	50,788
少数株主に係る四半期包括利益	14,801	21,275

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

株主資本の金額の著しい変動

当社が平成25年3月18日に発行いたしました当社第1回新株予約権に関し、平成26年6月24日の権利行使をもって当該新株予約権の全ての権利行使が完了した結果、資本金が1億5千3百万円、資本準備金が1億5千3百万円それぞれ増加しております。また、平成26年6月27日開催の定時株主総会の決議により、同日付で会社法第448条第1項の規定に基づき、資本準備金5千8百万円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

これらの結果、第1四半期連結会計期間において資本金が1億5千3百万円、資本準備金が9千4百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が35億2千7百万円、資本準備金が2億4千4百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	合計
売上高					
外部顧客への売上高	135,582	62,604	186,679	273,781	658,647
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	135,582	62,604	186,679	273,781	658,647
セグメント利益	97,547	6,836	843	34,605	139,833

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「不動産」で893,167千円増加しております。

これは主に、東京都新宿区に建設中の温浴施設の建設費用の一部を支払ったことによる「建設仮勘定」の増加や従来から区分所有している東京都港区の西麻布ビルの住居部分を新たに取得したことによる「建物」、「土地」及び「借地権」の増加によるものであります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	139,833
のれんの償却額	△3,510
全社費用(注)	△127,394
四半期連結損益計算書の営業利益	8,928

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産	繊維	化粧品	ゴルフ場	合計
売上高					
外部顧客への売上高	133,891	49,960	186,957	249,632	620,441
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	133,891	49,960	186,957	249,632	620,441
セグメント利益	86,863	3,285	10,874	18,109	119,133

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、前連結会計年度の末日に比べ、報告セグメントの資産の金額は「不動産」で1,173,007千円増加しております。

これは主に、東京都新宿区に建設中の温浴施設の建設費用の一部を支払ったことによる「建設仮勘定」の増加によるものであります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額（千円）
報告セグメント計	119,133
のれんの償却額	△3,510
全社費用（注）	△115,140
四半期連結損益計算書の営業利益	482

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。